

2025.3.21

グラムール シリーズ 全面接着剤張り工法

施工マニュアル

グラムールシリーズ（グラムールスレート・磨き・マット・グランデ・フレール・オーサム）は薄型大判タイルです。屋内壁・屋内床に使用可能です。（グラムール 6 mm厚は屋外壁も施工可能）施工の際はこのマニュアルを遵守して正しい施工をしてください。

注意事項

- ・裏打ち補強加工はしておらず、たわみやすく破損しやすいので取扱いには充分ご注意ください。特に角カケにはご注意ください。
- ・リフォームでご使用の際は既存の壁紙（クロス等）を剥がしてから施工を行ってください。
- ・磨きシリーズは表面に汚れ防止の保護剤が塗布してあります。乾いた布等で簡単に除去できます。
- ・落下防止金具（リベット取付け金具）加工したタイルを現場で保管する場合は平置きにはしないでください。リベット部分の点荷重でタイルが破損する恐れがあります。

適用タイル

屋内壁面用：グラムール 1200×600 mm 4.8 mm厚・グラムール 1200×600 mm 6 mm厚
グラムールグランデ 1800×900 mm 6 mm厚・グラムールオーサム 1800×900 mm 5.5 mm厚・グラムールフレール 1200×600 mm 5・5.5 mm厚（いずれも高さ 3m以上の場合は落下防止金具併用）別資料の「リベット取付け金具併用接着剤張り工法」マニュアルを参照ください。

屋外壁面用：グラムール 1200×600 mm 6 mm厚（高さ 3m以上の場合は落下防止金具併用）別資料の「リベット取付け金具併用接着剤張り工法」マニュアルを参照ください。

屋内床面用：グラムール 1200×600 mm 6 mm厚・グラムールグランデ 1800×900 mm 6 mm厚
グラムールオーサム 1800×900 mm 5.5 mm厚

適用下地

屋内屋外壁面：コンクリート、モルタル（含水率が 8%未満：表面は金ゴテ仕上げ）
不陸精度 ±2 mm以内 /2m

屋内壁面：合板（Ⅰ類合板）・各種乾式ボード 不陸精度 ±2 mm以内 /2m、段差 1 mm以内

接着剤

壁面用：ライトエース P、**床面用：**タイルエース床用

硬化促進剤

PM アクセラレータ（10g/袋）、使用目安：接着剤 1 本に対し 1 袋混入

目地

目地幅 5 mm以上は空け、伸縮目地は必ず別途設けてください。

コテ

10 mmクシ目コテ、5 mmクシ目コテ

①下地

確認：屋内屋外壁面のコンクリート・モルタル下地の場合は、含水率 8%未満：表面は金ゴテ仕上げとします。屋内壁面の乾式ボード下地の場合はボードの継ぎ目段差は 1 mm以内とします。コンクリート・モルタル下地、ボード下地共に **±2 mm以内 /2m 以内に不陸調整**できていることが条件です。

※コンクリート・モルタル下地で不陸が大きい場合は下地を弾性下地調整塗材タイルアジャスト RE-561(5 mmまで)・RE-532(10 mmまで) を用いて不陸調整を行ってください。不陸調整後、養生期間をとって施工時までには充分硬化させてください。また、吸水調整剤やシーラーには接着剤が着きませんので接着部分には使用しないでください。なお下地の浮きなども事前に確認していただき、汚れ・金属の錆やコンクリートのレイトランスなども取り除いてください。

※屋内壁面の乾式ボード下地は板間を 2 mm程度の隙間を開ける目透かし張りで、さらに板間をジョイントテープで補強してください。**タイルが板間を跨がない割付け**をお願いします。

屋内屋外壁面共に施工壁面の**高さが 3m以上ある場合は落下防止金具**（ステンレス板・ステンレス線をリベットで取付けたタイプ）を併用して施工してください。別資料「リベット取付け金具併用接着剤張り工法」マニュアルを参照ください。

②タイル施工

準備：タイル張りの前に下地を最終確認し、仕上げ精度のアップと作業効率アップのため、予めタイル割り通りに隅出し作業を実施してください。

接着剤準備：**ライトエース P (2kg) 1 本に硬化促進剤 (10g) 1 袋**の割合で混合攪拌してから必要量をコテ台に移してください。

※パック開封後の保存は出来ませんので開封後は速やかに使い切ってください。

接着剤塗布：施工は下段から開始します。**10 mmクシ目コテ**を使い接着剤は下地によく付着させるように塗り付け、その後しっかりとクシ目を立ててください。**クシ目は空気が抜けやすいようにタイル横幅で一直線に引く**ようにしてください。その際に目地部分から接着剤がはみ出てこない様に、**タイル周りは 5 mmのクシ目コテ**をご使用ください。落下防止金具を併用する場合は、接着剤の塗布は 1 段毎の範囲とし、その上段部は緊結用のビス打ち作業がしやすいように、接着剤の塗布は行わないでください。ビスの打込み→金具緊結後にその部分の接着剤を塗布する様にしてください。

タイルの張付け：接着剤の塗布後、速やかにタイルを張付けください。GRAMOUR GRANDE・GRAMOUR OUSAMは 2 人掛りでバキュームリフター（吸盤）等を使い作業にあたってください。タイルは下段からの施工になります。スペーサーなどを利用して、タイルの自重によるズレを防止しながら仕上げ材の面基準値までモミ込むように押さえつけてください。落下防止金具併用の

場合は躯体側に打込んだビスに金具を緊結しながら施工していきます。さらに全体的にビブレードをかけて密着させてください。オープンタイムは夏場は 20 分以内、冬場は 40 分以内です。

③仕上げ作業

タイル清掃：タイル表面に接着剤が付着した場合は、接着剤の硬化後にカッター等で削り、残った接着剤は砂消しゴム等で除去してください。

目地詰め：接着剤の硬化後（施工翌日以降）、目地詰め作業を行ってください。セメント系の目地材は低温時（冬場）は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認しながら作業をしてください。

シーリング工事：必ず伸縮目地を設けてください。目地幅は 10 mm 以上とします。また壁面や他部材との取り合いも別途シーリング工事を行ってください。

施工手順 屋内床面の場合

①下地

確認：施工部位は内装床で下地はコンクリート・モルタル（含水率 8% 未満：表面は金ゴテ仕上げ）**±2 mm 以内 /2m に不陸調整**できていることが条件です。

※コンクリート・モルタル下地で不陸が大きい場合は下地を JIS A 6916 CM-2 に適合する既製調合モルタルで不陸調整後、養生期間をとって施工時まで充分乾燥させてください。また、吸水調整剤やシーラーには接着剤が着きませんので接着部分には使用しないでください。なお下地の浮きなども事前に確認していただき、汚れ・金属の錆やコンクリートのレイトランスなども取り除いてください。

②タイル施工

準備：タイル張りの前に下地を最終確認し、仕上げ精度のアップと作業効率アップのため、予めタイル割り通りに墨出し作業を実施してください。

接着剤準備：**タイルエース床用 (1.9kg) 1 本に硬化促進剤 (10g) 1 袋**の割合で混合攪拌してから必要量をコテ台に移してください。

※パック開封後の保存は出来ませんので開封後は速やかに使い切ってください。

接着剤塗布：**10 mm クシ目コテ**を使い接着剤は下地によく付着させるように塗り付けその後しっかりとクシ目を立ててください。

タイルの張付け：接着剤の塗布後は速やかにタイルを張付けください。大判なので 2 人掛りでバキュームリフター（吸盤）等も使い作業にあたってください。タイルクリップを併用して施工すると面精度が上がりきれいに仕上がります。この時タイルを持ち上げるのではなく、仕上げ面の基準値までモミ込むようにして裏面に空隙が入らない様に注意しながら押さえ込んでください。

さらに全体的にビブラートをかけて密着させてください。オープンタイムは夏場は 15 分以内冬場は 20 分以内です。

③仕上げ作業

タイル清掃：タイル表面に接着剤が付着した場合は、接着剤の硬化後にカッター等で削り、残った接着剤は砂消しゴム等で除去してください。

目地詰め：接着剤の硬化後（施工翌日以降）、目地詰め作業を行ってください。セメント系の目地材は低温時（冬場）は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認しながら作業をしてください。また、シーリング材（変性シリコン系）を目地にする場合は、必ず目地に沿ってマスキングテープで養生してから打設をしてください。（目地幅はどちらも 5 mm 程度）

必要副資材・工具



タイルアジャスト RE-532 (2kg)



タイルアジャスト RE-561 (2kg)



ライトエース P (2kg)



タイルエース床用 (1.9kg)



硬化促進剤
PMアクセラレータ (10g)



10mmクシ目コテ



5mmクシ目コテ



バキュームリフター



ビブレート工具